

MZ プラットフォーム研究会 正式申込書

区分	法人会員	個人会員
申し込み日付	平成	年 月 日
郵便番号	-	
住所		
ふりがな		
会員組織名称 (会社, 研究機関名等)		
部署名		
ふりがな		
担当者氏名(法人) 会員氏名(個人)		
電話番号	()	-
FAX 番号	()	-
E-mail		
コメント		
請求方法(来年度以降)	見積書が必要	請求書のみで構わない

MZ プラットフォーム研究会運営会則および MZ プラットフォーム研究会における個人情報の取り扱い規定に同意し、MZ プラットフォーム研究会への参加を申し込みます。

氏名 _____ 印 _____ 自署・捺印願います

事務局使用欄

--	--

記入された個人情報は、以下の用途以外には使用致しません。

1. MZ プラットフォーム研究会の運営（入会、退会を含む）に関する通知・報告・お知らせ。2. MZ プラットフォームに関連したシンポジウム・講演会・展示会などの連絡。3. MZ プラットフォームに関連したアンケートの送付。4. ソフトウェアの不具合に関連した通知。5. ソフトウェアのバージョンアップに関連した通知。6. ソフトウェアのライセンスに関する通知。7. ソフトウェアの新規機能・機能変更に関する通知。

プログラム使用同意書

独立行政法人産業技術総合研究所（以下甲という。）は、本プログラムの使用者（以下乙という。）が以下の使用許諾条件を注意深く読み、乙が全ての条項に同意した場合のみ本プログラムの使用を許可するものとする。同意は、乙が本同意書に署名捺印した時点または乙が本プログラムを1台のコンピュータにインストールした時点で発生するものとする。

プログラム使用許諾条件

（管理責任者、名称、管理番号の表示）

第1項 甲は本プログラムの管理責任者を「MZ プラットフォーム研究会」、名称を「コンポーネントの組み合わせによる設計製造支援ソフトウェアの実行開発用プログラムおよび基幹コンポーネント-1」、管理番号を「H16PRO 280」と定め、乙は本プログラムの使用に際し、本プログラムが独立行政法人産業技術総合研究所の著作物である旨、および前記の管理責任者、名称、管理番号を表示すること。

（使用の制限）

第2項 乙は、本プログラムを研究開発として使用若しくは改善の目的で改変すること。または、商業的価値の評価のため使用すること。

ただし、乙が本プログラムおよび本プログラムを改変したもの（以下改変プログラムという。またこの両プログラムを総称して本プログラム等という。）を製造・販売の業とするとき若しくは本プログラム等の使用を前提とした営利活動を行う場合は甲の技術移転担当部署を介して実施契約を締結し定められた実施料を支払うものとする。

（使用結果情報の提供）

第3項 乙は、管理責任者の要請に応じ、本プログラムの使用の結果等に関する情報を管理責任者に提供すること。

（公表または第三者への提供の制限）

第4項 乙は、本プログラムの公表、および本プログラムのうち再配布可能と定められていない部分の第三者への開示または提供を行わないこと。

（改変プログラムの公表または第三者への提供の制限）

第5項 乙は、改変プログラムの公表、および第2項に定める使用または改善の目的での改変以外の目的での第三者への提供を行わないこと。また、乙は、第2項に定める使用または改善の目的での改変のため改変プログラムを第三者に提供した場合、甲に対し当該第三者の名称を報告する義務を負うと共に、当該第三者に対し第1項から第5項と同じ条件を遵守させること。

（保証の制限）

第6項 甲は、本プログラム等の使用によって生じる全ての結果について、如何なる保証も行わない。乙は、自己の責任において本プログラム等を使用するものとする。

（保守の制限）

第7項 本プログラムは現状のまま提供され、甲は、本プログラム等の使用に関する如何なる保守も行わないこととする。

（改変元プログラムの契約遵守義務）

第8項 本プログラムが第三者のプログラムを改変して使用している場合、当該プログラムの使用に際し当該第三者のプログラムが課している契約条項を遵守すること。

（関係論文の引用義務）

第9項 乙が本プログラムを使用して研究開発等を行い、その成果を公表する場合は、甲が指定する関係論文を引用すること。

（裁判管轄の合意）

第10項 甲及び乙は、本同意書に関する訴訟の第1審の管轄裁判所を東京地方裁判所と定めることに合意する。

以上の項目について同意します。

平成 年 月 日

所属・役職

氏名

印